

2025 年 10 月 23 日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先:財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

**持分法適用関連会社（株式会社ラバブルマーケティンググループ、証券コード 9254）
の第三者割当増資引受による連結子会社化に関するお知らせ**

当社は、本日の取締役会において、当社の持分法適用関連会社である株式会社ラバブルマーケティンググループ（以下、「LMG」という）が実施する第三者割当増資全ての引受により、連結子会社化することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結子会社化の理由について

当社は、2024 年 10 月 29 日に中期経営計画（A I 革命 1.0）を策定し、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目される A I を軸に、「自己投資事業」「ファンド事業」「P I P E s 事業」「投資銀行事業」の 4 つの事業ドメインにおける金融ソリューション事業を展開しております。2025 年 5 月 15 日には中期事業計画を策定し、時価総額 1,000 億円達成の時期として従来は 2030 年 3 月期を目標として掲げていたものを、2028 年 3 月期を目標として前倒ししております。

LMGは、「最も愛されるマーケティンググループを創る」というグループミッションのもと、SNS マーケティングを中核とするマーケティング支援サービスを多面的に展開しております。近年では、SNS 運用支援に加え、インバウンドプロモーション、Web3、XR といった次世代領域への取り組みも本格化しており、マーケティングにおける価値提供の幅を拡大しております。

当社は、LMGが取り組むSNS マーケティングの巨大な市場（3 兆円以上にのぼる日本のインターネット広告費（出典：電通「2023 年 日本の広告費」）の中でも、企業のマーケティング活動に欠かせない領域として年々拡大を続けている市場）、および当社グループ（連結子会社である株式会社ショーケースを含む）が取り組む巨大な市場での大きな事業機会を最大限に活用するためには、両者が連携し、相互に顧客を紹介したり、それぞれの強みを活かした新たな商品・サービスを提供したりすることが最適であろうと考え、当社の中期経営計画において「既存事業を有している/確立済である一方で、A I を活用して新たなビジネスモデルを構築することにより、企業価値の成長を目指す企業群」等に自己投資を行う「自己投資事業」として、2025 年 3 月及び 5 月に LMG の株式を取得し、議決権比率で 30.25%を保有しております。

また同時に、成長戦略のための中長期的パートナーとして資本業務提携契約を締結し、「顧客の相互紹介」「コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供」「様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成」等に関して協議を行い、相互補完関係を深めてまいりました（詳細については、末尾「ご参考：（再掲）当社グループとLMGの資本業務提携の内容及び協業した際に期待できるシナジー効果」をご参照ください）。既に、当社連結子会社である株式会社ショーケースのDXクラウド事業や、同じく当社連結子会社であるミライドア株式会社の地方創生ファンド、並びに日本全国の地方自治体や地域金融機関とのコネクションによる顧客紹介などのシナジーなど、当社のグループ会社や投資先とのLMGの取引や協業の検討が進展しており、両社のシナジーは着実に具現化しつつあります。

このような取り組みの中、LMGの「将来的なM&Aや新規事業投資など、より機動的かつ積極的な資本政策の遂行のために、さらなる自己資本の充実を行いたい」という意向と、両社の「連携をより一層強化し、両社のパートナーシップを戦略的に深化させたい」との考え方をふまえ、LMGが実施する第三者割当増資全ての引受により、連結子会社化することとしました。

2. 連結子会社化の概要

当社は、本日時点でLMGの普通株式374,900株（議決権比率で30.25%）を保有しております。2025年11月12日付で同社が実施する第三者割当増資（360,000株）の全てを1株につき1,371円で引受け、払込金額の総額は493,560,000円（2025年4月18日付「資金の借入に関するお知らせ」で開示の株式会社ショーケースからの借入による資金を充当）となります。これにより、当社は同社の普通株式734,900株（第三者割当増資後の議決権比率で47.75%）を保有することになり、実質支配基準により同社は当社の連結子会社となる予定です。

3. 異動する子会社及び第三者割当増資引受の相手先（LMG）の概要

1	名 称	株式会社ラバブルマーケティンググループ
2	所 在 地	東京都港区虎ノ門四丁目1番13号
3	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 雅之
4	事 業 内 容	SNSマーケティング支援
5	資 本 金	50,000,000 円（2024 年 10月31 日時点）
6	設 立 年 月 日	2014 年 7 月 15 日

7	大株主及び議決権比率 (2024年10月31日現在のデータに、2025年3月及び2025年5月の当社への株式譲渡を反映)	AI フュージョンキャピタルグループ株式会社 30.22% 合同会社みやびマネージメント 14.87% 株式会社SBI証券 6.09% 楽天証券株式会社 5.94% 林 雅之 5.81% KGI ASIA LIMITED – CLIENT ACCOUNT 4.05% 各務 正人 3.84% 長谷川 直紀 2.06% 青木 達也 1.53% ラバブルマーケティンググループ社員持株会 1.40%		
8	当社との間の関係	資本関係	当社はLMGの議決権比率30.22%を保有する筆頭株主であります。	
		人的関係	当社の取締役副社長である松本高一氏はLMGの社外取締役であります。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況の該当状況	LMGは、当社の関連会社に該当致します。	
9	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2023年3月期	2023年10月期	2024年10月期
	純 資 産	552 百万円	574 百万円	306 百万円
	総 資 産	1,411 百万円	1,405 百万円	1,726 百万円
	1株当たり純資産	369.10 円	381.66 円	213.45 円
	売 上 高	1,653 百万円	1,025 百万円	2,161 百万円
	営 業 利 益	80 百万円	22 百万円	137 百万円
	経 常 利 益	79 百万円	25 百万円	147 百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	44 百万円	9 百万円	72 百万円
	1株当たり当期純利益	31.46 円	6.76 円	52.78 円
	1株当たり配当金	0.00 円	0.00 円	0.00 円

- (注) 1. 2025年4月30日現在の株主名簿を基に、2025年9月30日現在の大量保有報告書により株式の異動が確認できたものを反映した株主を記載しております。
2. 上記割合は、小数点以下第3位を四捨五入しております。
3. 2023年6月29日開催の定時株主総会において、事業年度を「毎年4月1日から翌年3月31日まで」から「毎年11月1日から翌年10月31日まで」に変更しております。

本第三者割当増資の発行価額は、LMGとの協議を経て、本第三者割当増資の取締役会決議日である

2025 年 10 月 23 日の直前 1 ヶ月間（2025 年 9 月 23 日～2025 年 10 月 22 日）の東京証券取引所における LMG 普通株式の平均終値 1,371 円といたしました。

発行価額の決定に際し、取締役会決議日の直前 1 ヶ月間の終値単純平均を基準としたのは、特定の一時点を基準とするよりも、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響等特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性及び合理性をより確保することができる判断したためです。

また、算定期間を直近 1 ヶ月としたのは、直近 3 ヶ月、直近 6 ヶ月と比較して、より直近の一定期間を採用することが、現時点における LMG 株式の価値を反映するものとして合理的であると判断したためです。

なお、本第三者割当増資の払込金額である 1 株あたり 1,371 円は、2025 年 10 月 22 日終値 1,430 円に対する乖離率は 4.12% 下方、2025 年 10 月 22 日までの 3 か月間の終値平均 1,423 円に対する乖離率は 3.65% 下方、2025 年 10 月 22 日までの 6 か月間の終値平均 1,405 円に対する乖離率は 2.41% 下方となっております。

4. 日程

- (1) 取締役会決議日: 2025 年 10 月 23 日
- (2) 本株式取得にかかる払込: 2025 年 11 月 12 日（予定）
- (3) 本株式取得: 2025 年 11 月 12 日（予定）

5. 今後の見通し

本第三者割当増資の引受に伴い、LMG は当社の連結子会社となる予定です。本第三者割当増資の引受による連結子会社化の当社連結業績への影響については、現在精査中であり、今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかに公表いたします。

ご参考: 当社グループと LMG の資本業務提携の内容及び協業した際に期待できるシナジー効果

(2025 年 2 月 27 日付『株式会社ラバブルマーケティンググループ(証券コード: 9254)の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得と資本業務提携契約締結に関するお知らせ』及び 2025 年 5 月 1 日付『株式会社ラバブルマーケティンググループ（証券コード 9254）の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得に関するお知らせ』の内容の再掲)

資本業務提携契約の概要

当社グループと LMG は、両者の企業価値の向上を図ること等を目的とし、以下の事項について業務提携を実施致します。

- (1) 当社グループとLMGのそれぞれが強みを持つ、DX・AI関連技術及びSNSマーケティングの開発と導入、相互の商品、ブランド、及び事業の展開
- (2) 経営管理機能の共有、グループ間の顧客の連携
- (3) その他両当事者が合意した事項

当社グループとLMGが協業した際に期待できるシナジー効果としては以下が挙げられます。

① 顧客の相互紹介

当社グループであるショーケースのDX分野やAI分野でのサービス、およびLMGのSNSマーケティング分野における市場は巨大であり、更なる需要拡大が予想されます。いずれの分野においても、一部の大手企業を除き社内で豊富なノウハウ・スキルを有した人材を抱えることの出来る企業等は限定的であり、支援を必要とする企業等は無限に存在すると考えられます。そのため、ショーケースのDX分野やAI分野での顧客にLMGのSNSマーケティング支援サービスを紹介したり、LMGのSNSマーケティング支援サービスの顧客にショーケースのDX分野やAI分野での顧客を紹介したりすることで、両者の売上高増加が期待されます。また、当社が強いパイプを有する地方自治体や地域の金融機関に対しても、LMGのSNSマーケティング支援サービスを紹介することで売上高の増加が期待されます。

② コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供

中長期的には、ショーケースが持つDX分野やAI分野での技術力・サービス開発力、LMGのSNSマーケティング分野でのノウハウ・サービス開発力、更には当社の他の投資先企業の持つ技術やサービスのコラボレーションにより、AIを活用した新たなSNSマーケティングサービスなど、新規のサービスを開発・提供することで売上高の増加が期待されます。

③ 様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成

更には、DX分野やAI分野におけるショーケース、SNSマーケティング分野におけるLMGのように、各分野で強みを持つ企業によるアライアンス・グループの形成が考えられます。アライアンス・グループにおいては、グループ内の各企業が経営と商品・サービス提供の独立性を維持しながら、それぞれの顧客を互いに紹介しあい、コラボレーションによる新規サービスの開発・提供を行い、企業や地方自治体が「何か困りごとがあれば、このアライアンス・グループに相談することで全て解決される」という存在となることを目指し、それに伴い各社の売上高増加とともに、顧客の囲い込みが期待されます。



- ① 顧客の相互紹介
- ② コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供
- ③ 様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成

以上